

▶本校2年SSクラスの生徒が、台湾の生徒に日本の文化について教える交流会が行われた。



速報新聞

キマグレ

発行所

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

4月19日に本校2年SSクラスの生徒がスーパーサイエンスハイスクール事業の一環として台湾にある中高一貫校の台中市立忠明高級中学校の生徒と本校で文化交流を行った。

東高 × 忠明高級中学校 相互理解の架け橋へ

リン・ヨウチェン 君



台中市立忠明高級中学校の高校2年生のリン・ヨウチェン君は「今回体験した中ではカロムが一番面白かった。台湾とは違う文化を楽しむことができてよかった」と感想を話した。本校については「校舎がとてもきれいでこんな環境で勉強できることはとても良いと思う」と述べた。

1年生のリ・ネンイーさんは「台湾で中々体験することができない日本の文化について学ぶことができてよかった。カロムが一番楽しく、他にも折り紙やあやとりといった日本の昔ながらの遊びも体験してみたいな」と話した。



リ・ネンイーさん

台中市立忠明高級中学校のチャン・ユンツン校長先生は今回の交流について「言語が違っていても合意や理解につながるため、とても良い機会だと思う」と強調された。本校については「私たちの学校と一番違うのはグラウンドが芝生でないことだ。さまざまな違いが見つけられるのは生徒たちにとっても楽しいだろう」と話された。またチャン校長先生は「これから多くの日本の学校と連携を取り、相互に理解を深めることができるようにしたい」と今後の展望を話された。



チャン・ユンツン 校長先生